（4） 電動式処理機



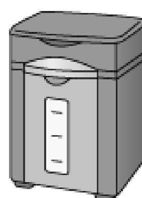


電動式生ごみ処理機は機種により、取扱い等が異なりますので、購入された機器に付属している取扱説明書を参考にしてください。

Q1 電動式生ごみ処理機ってどんなものですか？

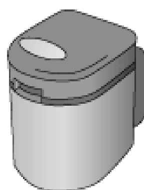
A　家庭用電源を利用して野菜くずや食事の残り物などの生ごみを手軽に撹拌しながら、乾燥させて処理できる機械です。微生物を利用して生ごみを分解するタイプ（バイオ式）と、温風により生ごみを乾燥させ減容するタイプ（乾燥式）の２種類があります。

バイオ式



培養基材（バイオチップ）の入った処理機に生ごみを入れ、電動でゆっくりと撹拌（かくはん）することにより微生物の働きが活発になり、生ごみを炭酸ガスと水蒸気に分解します。なお、バイオ式は、定期的な培養基材の補充が必要な機種もあります。

乾燥式



処理機に生ごみを入れ、電動で撹拌（かくはん）しながら温風で乾燥させ、生ごみの容量を減容させるものです。主に室内で使用するものが多く、比較的短い時間で処理が終わります。

Q2 処理時間はどれくらいですか？

A

バイオ式

２４時間かかります。投入する生ごみの質、量、形状によりそれ以上かかることがあります。

※外気温２０℃で、標準試験生ごみ700ｇ/日処理した場合。

乾燥式

生ごみ 400～700ｇで、約１時間４５分～３時間程度です。

Q3 運転音はどれ位ですか？

A　約 30～43 デシベルです。エアコンの室外機レベルです。

バイオ式

かくはん時に音が高い。

乾燥式

数分毎の攪拌時に音がします。

Q4 設置場所は？

A　乾燥式、バイオ式は屋内外兼用、屋内専用があります。ハイブリッド式は、屋外専用です。屋外では、雨のあたらない平らな場所に設置してください。

Q5 投入できるものは？

A　処理できるものは家庭から発生する生ごみだけです。一般的に人が食べられる食材・調理物などです。

スイカなどの水分の多い生ごみは、小さく切って水分を飛ばしてから入れてください。

麺類は一度に多量を入れずに、バナナの皮など繊維が多いものは２～３㎝に切ってから入れてください。

Q6 投入してはいけないものは?

A　貝殻類、鶏･豚の大きな骨、液体、たけのこの皮、とうもろこしの芯、玉ねぎの茶色い乾いた皮、梅干し、アボガド、プルーン、マンゴーなどの堅くて大きな種は入れないでください。内部に溜まって故障の原因になります。

その他人間が食べられないもの全般です。

Q7 カレーやシチューも投入できるのですか？

A　固形物（にんじん、じゃがいも等）は投入できますが、液体ルーは不可です。

Q8 処理時間が長いのですが？

A

バイオ式

処理能力を超える生ごみを投入していませんか。

投入を中止し様子を見ましょう。

また、水分調整も大切です。

内容物がパサパサしている場合は水分不足が生じている。水分が少ないと分解する菌が働かないので水分を多く含むものを投入し、自然に菌が定着しやすいような状況を作ってください。

内容物がコテコテしている場合は水分過多が生じている。こうなると原状回復することは困難なので、一度内容物を全部捨てて、新たにチップを入れる段階からやり直してください。

乾燥式

水分が多い内容物の場合は、処理に時間がかかります。

既に処理した乾燥ごみを少し入れて、再度処理をします。

Q9 なかなかうまく いかないのですが？

A　バイオ式
　一度に大量に投入せずに、ゆっくりと様子を見ながら投入したほうがよいです。

Q10 バイオ式を使っています。乾燥しているようですがこれで良いのですか？

A
バイオ式
　霧吹きなどで水分を補うと良いです。

乾燥式の場合は、反対に、水分を十分切ってから投入します。

Q11 臭うのですが？

A
バイオ式
　水分過多で分解が進んでいない可能性があります。水分調整と分解促進のため、状態をみながら米ぬかを投入してみてください。

乾燥式
　フタを開けない限り臭いません。

